

Syllabus

科目別年間進度表

1 . 現代文	37
2 . 古 典	39
3 . 世界史 A (理系・創造表現 2 単位)	41
4 . 世界史 B (文系 3 単位)	43
5 . 日本史 A (普通理系・創造表現)	45
6 . 日本史 B (普通文系)	47
7 . 地理 A (理系)	49
8 . 地理 B (文系)	51
9 . 数学 B・数学 (理系)	53
10 . 数学 ・ B (文系)	54
11 . 数学	55
12 . 数学 A	56
13 . 物理	57
14 . 化学 (理系)	59
15 . 化学 (文系)	61
16 . 生物 (文系)	63
17 . 生物 (理系)	65
18 . 地学 (普通)	67
19 . 地学 (創造表現)	69
20 . 体 育	71
21 . 保 健	72
22 . 音楽	73
23 . 美術	75
24 . 英語	76
25 . ライティング	77
26 . 情報 A	79
27 . C G	81
28 . 絵画	82
29 . 素描	83

現代文 古典（普通・創造表現コース）

現代文

		単元名	学習する内容	時間数
前	4月	説明的文章の読解（随想）	「『わからない』という方法」 橋本治	3
	5月	文学的文章の読解（小説）	「山月記」 中島敦	7
		説明的文章の読解（評論）	「揺らぎゆく自由の先に」 内山節	7
		文学的文章を味わう（詩） 第1回考査	「日々の生活に風穴を開ける」他	3
	7月	説明的文章の読解（評論）	「イスラム感覚」 藤原新也	7
期	夏休み	実力テスト		
	9月	文学的文章の読解（小説）	「靴の話」 大岡昇平	7
	10月	第2回考査		
後	10月	説明的文章の読解（評論）	「コペルニクスと神秘思想」 小山慶太	7
	11月	説明的文章の読解（評論）	「ワット・マハットの破壊された仏像」 宇佐美圭司	7
		文学的文章の読解（小説）	「級友」 津島佑子	4
	12月	第3回考査		
	期	12月	説明的文章の読解（随想）	「海亀通信」 宮内勝典
冬休み		実力テスト		
1月		説明的文章の読解（評論）	「言葉の＜意味＞と＜表象＞」中村雄二郎	6
2月		文学的文章の読解（小説）	「こころ」 夏目漱石	8
3月		第4回考査		

		現代文 副教材（試験範囲）
春休み	春実力テスト ニューエイジ現代文中級編 1・2・3・4・11・12・13	

前	4月 5月 6月	入試漢字 p 64 ~ p 79 新日本文学史 < 上代・中古の文学 > p 6 ~ 37 第1回考査 ニューエイジ現代文中級編 5・6・7・8・9・10 入試漢字 p 80 ~ p 95
	7月 夏休み 9月	夏実力テスト ニューエイジ現代文中級編 14・15・16・17・25・26・27 入試漢字 p 96 ~ p 119 新日本文学史 < 中世の文学 > p 38 ~ 63 第2回考査 ニューエイジ現代文中級編 18・19・20・21・22・23・24 入試漢字 p 122 ~ p 135
後	10月 11月 12月	新日本文学史 < 近世・近代の文学 > p 64 ~ 107 第3回考査 力をつける現代文 1・2・3・4・5 入試漢字 p 136 ~ p 149
	冬休み 1月 2月 3月	冬実力テスト 力をつける現代文 6・7・8・9・10・11 入試漢字 p 150 ~ p 161 新日本文学史 < 近代の文学 > p 108 ~ 131 第4回考査 力をつける現代文 12・13・14・15・16 入試漢字 p 162 ~ p 177

古典

	単元名	学習する内容	時間数	
前	4月	古文：説話の読解	十訓抄「文字一つの返し」など	4
	5月	漢文：小話の読解	蒙求「季札挂劍」十八史略「管鮑之交」	5
		古文：随筆の読解	枕草子「中納言参り給ひて」 「二月つごもりごろに」	4 3
	6月	漢文：文章の読解	「桃花源記」陶潜	4
		古文：随筆の読解 第1回考査	方丈記「ゆく河の流れ」「養和の飢饉」	5

期	7月	古文：随筆の読解 漢文：文章の読解	徒然草「世に語り伝ふること」 「漁父辞」屈原 「春夜宴桃李園序」李白	3 3 2
	夏休み	夏実力テスト		
	(8月) 9月	古文：平安日記の読解 古文：平安物語の読解	更級日記「あこがれ」 「源氏の五十余巻」 源氏物語「桐壺」	4 5 7
	10月	漢文：思想の読解一 第2回考査	儒家の思想・道家の思想	5
	後 期	10月	古文：平安物語の読解	源氏物語「若紫」
11月		漢文：史伝の読解	史記「鴻門之会」	6
		古文：歴史物語の読解	大鏡「花山院の出家」「肝試し」	9
12月		漢文：史伝の読解 古文：和歌の読解 第3回考査	史記「四面楚歌」「烏江亭」 和歌十六首（調整教材）	6 4
		12月	古文：芸能と表現	風姿花伝「年来稽古条々」
冬休み		冬実力テスト		
1月		古文：俳諧の読解	去来抄 野ざらし紀行「野ざらしを心に」など	5 6
2月 3月		漢文：古体詩の読解 第4回考査	漢詩「桃夭」「飲酒」「兵車行」	6

		古典 副教材（試験範囲）	
前	3月	春休み実力テスト 敬語マスターノート 全範囲 古文の演習グレード2... 1～5 錬成漢文... 1～5	
	4月 5月 6月	第1回考査 古文の演習グレード2... 6～14 錬成漢文... 6～14 古文単語ミニマム編 [1] 動詞31単語	
	7月 夏休み 9月	夏休み実力テスト 古文の演習グレード2... 15～21 錬成漢文... 15～21 漢文句法マスターノート 全範囲 古文単語ミニマム編 [4] 形容動詞20単語・[5] 名詞27単語	
期	10月	第2回考査 古文の演習グレード2... 22～30 錬成漢文... 22～30	

		古文単語ミニマム編 [2] 形容詞ク活用 3 6 単語
後	10月 11月 12月	第3回考査 古文の演習グレード3... 1 ~ 8 応用漢文... 1 ~ 9 古文単語ミニマム編 [3] 形容詞シク活用 3 1 単語
	12月 冬休み 1月	冬休み課題テスト 助詞マスターノート 全範囲 古文の演習グレード3... 9 ~ 13 応用漢文... 10 ~ 14 古文単語ミニマム編 [6] 副詞その他 30 単語
期	2月 3月	第4回考査 古文の演習グレード3... 14 ~ 21 応用漢文... 15 ~ 23 古文単語ミニマム編 [7] 敬語動詞 25 単語

世界史A 理系・創造表現コース(2単位)

	単元名	教材名	時間数
前	4月 第4章 大西洋世界の変容 とその波及	教科書 P 73 ~ 103 1. ヨーロッパとアメリカの諸革命 2. ヨーロッパの動乱の波及 3. 産業革命と世界市場の形成	18
	5月 第5章 産業化社会の拡大 と成熟	1. ウィーン体制とその崩壊	
	6月 第1回考査		
期	7月 8月 第6章 アジア諸国の変貌 と日本	教科書 P 104 ~ 133 2. 国民国家への道 1. 東アジアの変容と諸民族 2. 東南アジアをめぐる国際関係 3. 南アジアの変容と諸民族 4. 西アジアの変容と諸民族	18
	第2回考査		
後	10月 第7章 帝国と民族の時代 11月	教科書 P 135 ~ 176 1. 深まる国家と民族の対立 2. 一体化する世界 3. 第一次世界大戦前夜のヨーロッパ	18

期	1 2月	第 8 章 二つの世界大戦	1 . 第一次世界大戦 2 . 戦後秩序の形成 3 . 世界恐慌とファシズム 4 . 第二次世界大戦	
		第 3 回考査		
	1 月	第 9 章 あらたな国際秩序 の形成	教科書 P 1 7 7 ~ 2 1 1 1 . 米ソ冷戦と世界 2 . アジア・アフリカの民族運動	1 6
	2 月	第 10 章 諸地域の変容と世界	1 . 地域紛争と市場経済の世界化 2 . 現代の世界	
	3 月	終章 2 1 世紀に生きる	1 . 現代世界史の課題 2 . 歴史を見る眼、世界を見る眼	
		第 4 回考査		

学習のねらい	
第 4 章	<ul style="list-style-type: none"> 1 . アメリカ独立革命とフランス革命の過程とその影響について理解する。 2 . ヨーロッパの動乱は大西洋世界を変動させ、中南米諸国の独立を引き起こしたほか、インド洋から日本近海に至る海域にも波及したことを理解する。 3 . 産業革命の結果、資本主義が確立し、資本家と労働者が成長するとともに、貿易活動の拡大にともない世界の一体化が進んでいったことを把握する。
第 5 章	<ul style="list-style-type: none"> 1 . ウィーン体制の動揺、崩壊と各国における自由主義とナショナリズムの展開について把握する。
	<ul style="list-style-type: none"> 2 . ヨーロッパやアメリカにおける資本主義の進展と国民国家形成の過程について理解する。
第 6 章	<ul style="list-style-type: none"> 1 . ヨーロッパの進出による東アジア諸国の植民地化や従属化などの過程を扱い、東アジアの社会や経済の変動、地域秩序の変容などを把握する。 2 . ヨーロッパの進出による東南アジア諸国の植民地化や従属化の過程を把握する。 3 . ヨーロッパの進出による南アジアにおける植民地化や従属化の過程を扱い、南アジアの社会や経済の変動、民族運動の形成などを把握する。 4 . ヨーロッパの進出による西アジアやアフリカにおける植民地化や従属化の過程を扱い、社会や経済の変動、改革や抵抗の動きなどを把握する。
第 7 章	<ul style="list-style-type: none"> 1 . ヨーロッパにおこった国民国家形成の動きは、中央集権的な国家権力強化の方向に進んでいったことを理解する。 2 . 第二次産業革命の進行にともなう商品と資本の流れの拡大は、世界の一体化を進めたことを理解する。 3 . 第一次世界大戦前夜の国際関係をとらえて、帝国主義政策をとる列強の利害対立を理解する。

第8章

1. 第一世界大戦の総力戦としての性格、経過とロシア革命の経過と影響を理解する。
2. ヴェルサイユ体制とワシントン体制の理念と現実、アジアやアフリカの民族運動の動向などを理解する。
3. 世界恐慌が戦間期の国際秩序に危機をもたらし、全体主義の台頭によるあらたな国際対立を生み出したことを理解する。
4. 第二次世界大戦の性格と経過、それが及ぼした影響を理解し、平和の意義を考察する。

第9章

1. 第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営の対立の過程と、東西両陣営の内部が次第に変化していったことを把握する。
2. アジア・アフリカの新興独立国は第三勢力を形成し、冷戦の緩和、植民地支配の撤廃などに大きく貢献したことを理解する。

第10章

1. 冷戦終結後の世界でおこった地域紛争の原因や歴史的背景を考察する。
2. 社会主義体制の崩壊、地域統合の動きや地域主義の台頭など、現代世界の動向を把握する。

終章

1. 近代以降顕著となってきた諸問題を解決するためには、世界史の理念や生活の目標の変更が迫られていることを認識する。
2. 現代文明が抱えている課題の解決には、地球的な視野に立つ考察と国際的な協調が必要であることを認識する。

世界史B 文系3単位

		単元名	教材名	時間数
前	4月	第1章 文明社会への道すじ	教科書P.18～P.52	26
	5月	第2章 西アジアと地中海世界	1. オリент世界 2. インド＝ヨーロッパ系民族の進出と東地中海世界 3. オリントの統一 4. ギリシアのポリス社会 5. ポリスの発展と衰退 6. ヘレニズム世界 7. ローマ帝国 8. イラン民族の国家	
期	6月	第1回考査		
	6月	第3章 南アジア・東南アジア世界の形成	教科書P.53～P.96 1. インド文明の形成 2. 南インド世界の形成 3. インド文化と東南アジア	25
	7月	第4章 東アジア・内陸アジア世界の形成	1. 中国文明の形成 2. 中国の統一と朝鮮・日本の動向 3. 内陸アジアの国家形成 4. 中国の分裂時代 5. 中国の再統一と東アジア世界の成立	
	9月	第5章 アフリカ・アメリカの王国形成	1. 東アフリカと西アフリカの古王国 2. メソアメリカ・アンデス世界	
	10月	第2回考査	教科書P.97～P.130	

後 期	11月	第6章 イスラーム世界の 形成と発展	1. イスラーム帝国の成立 2. イスラーム国家の多様性 3. イスラームの都市と文化 4. ムスリムの進出とイスラーム化	25
	12月	第7章 内陸アジア・東ア ジア世界の展開	1. 内陸アジアの動きと東アジア 2. モンゴル民族の活動	
	1月	第3回考査	教科書P. 131 ~ P. 160	30
	2月	第8章 ヨーロッパ世界の 形成と展開	1. 西ヨーロッパ世界の成立 2. 封建社会 3. ローマ=カトリック教会 4. ビザンツ帝国と東ヨーロッパ 5. 十字軍 6. 封建社会の変質 7. 王権の伸長 8. 中世ヨーロッパの文化	
3月				
	第4回考査			

学習のねらい	
第1章	人類の進化の過程と、新石器革命を経て文明を生み出すまでの道筋を理解する。
第2章	<p>1. メソポタミアとエジプトの古代文明の特質を理解する。</p> <p>2. ヒッタイトや地中海東岸の諸民族の活動とその歴史的意義について把握する。</p> <p>3. オリентを統一したアッシリア・アケメネス朝ペルシア帝国の特徴と違いを理解する。</p> <p>4. ポリス社会を基盤として成立したギリシア古代民主政とギリシア文明の特徴を把握する。</p> <p>5. 古代民主政治の完成からポリス社会の崩壊に至る過程を理解する。</p> <p>6. ギリシア世界とオリент世界が融合して、ヘレニズム世界が成立したことを把握する。</p> <p>7. ローマ帝国により地中海世界が形成されたことを理解する。</p> <p>8. パルティアやササン朝の統治体制とペルシア文明の特質について理解する。</p>
第3章	<p>1. インダス文明とその後侵入したアーリア人によってインド文明が形成される経過を理解する。</p> <p>2. マウリヤ朝からグプタ朝に至る過程で形成されたインド古典文明の特徴を把握する。</p> <p>3. 東南アジアがインド文明の影響を受けながら国家を誕生させたことを把握する。</p>
第4章	<p>1. 黄河文明、殷・周の邑制国家の成立、社会変動と諸思想の出現について理解する。</p> <p>2. 秦・漢における中央集権的専制国家の形成について、周辺への拡大にも注目して理解する。</p> <p>3. 内陸アジア諸民族の活動がユーラシア諸地域世界の交流と再編に果たした役割を把握する。</p> <p>4. 魏晋南北朝時代のうちに貴族社会と律令体制につながる諸制度が誕生してくることを理解する。</p> <p>5. 隋・唐の律令体制と貴族文化の繁栄と東アジア世界の形成をわが国の歴史と関連して理解する。</p>
第5章	<p>1. 東・西アフリカに古くから王国が栄え、独自の文化が発達したことを把握する。</p> <p>2. 古アメリカ文明が、ユーラシア諸文明とは独自に発展していたことを認識する。</p>
第6章	<p>1. イスラム教の成立の経緯とアッバース朝の成立までのイスラーム世界について理解する。</p> <p>2. 諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大と地方政権の成立と発展につい</p>

て理解する。

3. 都市文明としてのイスラーム文明の特質と、イスラーム文化の世界史的意義について認識する。
4. イスラームの国際商業ネットワークの発達と、インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化について把握する。

第7章

1. 唐末五代から宋への、貴族の没落と地主・商人社会の形成という中国社会の変動と、東アジア諸民族の自立と独立という東アジア世界の変動を理解する。
2. モンゴル帝国によりユーラシア全体にまたがる交易圏が形成されたことを理解する。征服王朝としての元の中国支配の特徴を把握する。

第8章

1. フランクとローマ教会の提携によって西欧中世世界が形成された経緯を把握する。
2. 封建制と荘園制からなる封建社会の形成とその特徴を理解する。
3. 西欧中世世界においてローマ=カトリック教会が絶大な権威を樹立したことを理解する。
4. ビザンツ帝国やスラヴ人を中心に形成された東欧世界の歴史的特質を理解する。
5. 十字軍遠征を西欧中世世界の膨張という大きな動きの中で把握する。
6. 十字軍遠征以降の中世社会の崩壊の動きと、その中から新しい時代を開く都市市民・独立自営農民が成長してくる動きを統一的に把握する。
7. 教皇権の衰退、諸侯・騎士の没落とともなって王権が伸長してくる動きを把握する。
8. キリスト教文化としての中世西欧文化を、ビザンツやイスラーム世界とも関わって発展したことにも注目して理解する。

日本史A 普通コース [理系]・創造表現コース

		単元名	教科書項目（山川出版社『現代の日本史』）	時間数
前	4月	第1章 開国と維新	1 東アジア国際環境の変化と開国 2 政治秩序の崩壊	18
	5月		3 明治維新と革新政策	
	6月		4 対外関係の変革と内乱の終結	
	第2章 近代国家の形成と発展		1 立憲政治をめざして	
		第1回考査	テスト返却・自己評価	
期	7月	主題学習	2 憲法の制定と議会の開設 3 東アジアの国際環境と条約改正問題 4 清国との戦い 5 藩閥・政党の対立と協力 6 ロシアとの戦い	16
	8月		文化財をみる・地域からアプローチ 7 日露戦争後の国際関係と日本	
	9月		第3章 産業化の推進と国民生活の変化	
	第2回考査		テスト返却・自己評価	
	10月	第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー	1 第一次世界大戦と日本の外交 2 デモクラシーの高まりと政党 3 国際協調と軍縮の進展 4 政党政治の時代 5 大戦中から戦後の経済と社会 6 都市化と大衆文化	18

後	11月	第5章 第二次世界大戦と日本	1 昭和恐慌 2 協調外交の行きづまり 3 満州事変から国際的孤立へ 4 軍部の政治的台頭	
	12月			
第3回考査			テスト返却・自己評価	
期	1月	第6章 占領下の日本	5 中国との戦い 6 第二次世界大戦と世界新秩序 7 太平洋戦争 8 日本の敗北 1 占領政策の展開 2 戦後民主主義の定着 3 政治・経済の再建 4 独立の回復	18
	2月	第7章 日本の自立と経済成長	1 55年体制の成立 2 安保体制下の日本 3 高度経済成長の光と影 4 経済大国	
	3月	第8章 現代の世界と日本	1・2 冷戦の終わりと国内政治の再編成 3 アジア・太平洋と日本 4 21世紀を迎えて	
	第4回考査			

平成 19(2007)年

学習のねらい・目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 開国から明治維新に至るまでの過程について、国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して理解する。 ・ 幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡に至るまでの経過を社会・経済の変化と関わらせて理解する。 ・ 明治新政府の諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を理解する。 ・ 欧米の文化・思想の影響により日本を欧米諸国と同等の位置へ引き上げようとする一連の近代化政策がとられ、それが日本人の近代化への覚醒をもたらしたことを理解する。 ・ 近代化政策の反動について理解し、立憲制をめざす歴史的転換を理解する。 ・ 政府の強力な中央集権体制の志向のなか、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間に、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大日本帝国憲法の成立と帝国議会のあり方を理解する。 ・ 欧米諸国と対等の地位に立つために国家的課題であった不平等条約の改正を行い、東アジアへの進出により欧米列強への仲間入りをめざした経過について考察する。 ・ 明治政府の特徴と議会政治の動向を理解する。 ・ 日露戦争の勝利による欧米列強の仲間入りの経緯とその後の植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 ・ 夏季休業中を利用した主体的な学習活動により、地域の文化遺産についての関心を高め、文化財保護の重要性について認識を深める。 ・ 立憲体制成立後から第一次世界大戦に至るまでの国内政治の動きを、政党と藩閥の抗争などの視点から理解する。 ・ 日清戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が形成された過程を考察する。 ・ 日露戦争後に資本主義国家が確立していくことを考察する。 ・ 近代産業の発展に伴う社会問題・労働問題の発生や、国民生活の向上について考察する。 ・ 伝統的な文化の上に欧米文化を取り入れた国民的な性格を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点から理解する。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・ ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ・ 民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について理解する。 ・ 第一次世界大戦が日本の社会・経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて理解する。 ・ 労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について理解する。 	

- ・ 戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内外の状況について、経済政策に加えて政治・経済の動揺にも着目する。
- ・ 社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。
- ・ 日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治進出の拡大による政党内閣の崩壊過程も踏まえて考察する。

- ・ 日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。
- ・ 第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえるとともに、日本がアジア諸国に多大な損害を与えたことや広島・長崎への原爆投下など日本も空前の戦禍を被ったことに着目する。
- ・ 戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を理解するとともに、戦後政治の集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。
- ・ 東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し日本が独立した意義を考えるとともに、その後の日米関係の継続について様々な国の立場から考察する。
- ・ 55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。
- ・ 冷戦構造に雪どけの状況が生まれるなか、日本が国際社会に復帰したことについて、国連加盟、アメリカ・ソ連・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。
- ・ 高度経済成長を遂げる過程で日本社会が大きく変貌したことや、アメリカのアジア政策に協力することによって日本が国際的地位を高めたことを理解する。
- ・ 冷戦構造の崩壊による流動的な世界情勢が生まれる中で、21世紀の日本が直面している多くの課題があることについて理解を深める。
- ・ 1年間の学習を振り返り、近現代史を中心とする日本史の展開を世界史的視野に立ち国際環境などと関連づけて考察できたか、歴史的思考力を培うことができたかを総括する。

日本史B 普通コース [文系]

		単元名	使用教科書項目(山川出版社『詳説日本史 改訂版』)	時間数
前	4月	第1章 日本文化のあけぼの	1 文化のはじまり	25
	5月		2 農耕社会の成立	
	6月	第2章 律令国家の形成	3 古墳とヤマト政権	
		第1回考査	1 飛鳥の朝廷	
			テスト返却・自己評価	
期	7月	歴史の追究	2 律令国家の成立	25
	8月		3 平城京の時代	
	9月		4 天平文化	
	9月		5 平安朝廷の形成	
		第2回考査	文化財をみる・地域からのアプローチ	
			テスト返却・自己評価	
	10月	第3章 貴族政治と国風文化	1 摂関政治	
			2 国風文化	
			3 荘園と武士	

後	11月	第4章 中世社会の成立	1 院政と平氏の台頭	25
	12月		2 鎌倉幕府の成立	
	第3回考査		テスト返却・自己評価	
期	1月	第5章 武家社会の成長	3 武士の社会	30
			4 蒙古襲来と幕府の衰退	
			5 鎌倉文化	
	2月		1 室町幕府の成立	
	3月		2 幕府の衰退と庶民の台頭	
第4回考査		テスト返却・自己評価・授業評価		

平成 19(2007)年

学習のねらい・目標	
<ul style="list-style-type: none"> 旧石器時代と縄文時代の人々の生活や社会・文化が、発掘調査の成果によって明らかにされてきたことや、考古学の方法について理解する。 旧石器時代や縄文時代の遺物・遺構から当時の人々の生活や社会・文化について理解する。 土偶の製作や屈葬などの呪術的風習から、縄文時代の人々の精神生活について考察する。 弥生文化の形成と、身分の分化や階級の成立にみられる社会の変化について理解する。 弥生時代に小国や地域的な連合から邪馬台国が形成された過程を、中国の歴史書の記載内容や考古学の発掘成果を用いて理解する。 ヤマト政権が西日本を中心とした各地の首長の連合体として形成され、統一国家に発展していったことと、その政権の特質について理解する。 古墳の出現と各地への広がり、その規模や副葬品に着目し、ヤマト政権支配や大陸文化の影響について理解する。 遣隋使による東アジア世界との関係のなかでもたらされた文物・制度の影響に着目する。 国家による仏教の隆盛、造寺・造仏が国家事業として進められたことに着目し、文化が古代国家の展開と深くかかわりあっていたことを理解する。 大陸から伝来した文化が、その後の日本文化に多大な影響を与えたことを理解する。 	
<ul style="list-style-type: none"> 大化改新以降、律令国家形成に向けた統治体制が整備されていったことを理解する。 律令国家形成期と初唐文化の影響のもと白鳳文化が形成されたことを理解する。 律令体制が公民への過度な負担により成り立っていたことを史料などを用いて考察し、その変質が予想以上に早まった要因を認識する。 律令制度の完成が、平城京造営・国内体制整備・支配領域拡大に結びついたことを理解する。 鎮護国家思想にもとづく仏教保護が、奈良時代の政治をより不安定なものにしたことを理解する。 東アジア世界との関係と、遣唐使によってもたらされた文物・制度の影響に着目し、天平文化の特色について考察する。 古事記・日本書紀の編纂が律令国家の正当性を明らかにするためであったことをおさえつつ、古事記・日本書紀・風土記のそれぞれの特徴の違いを理解する。 夏季休業を利用した主体的な学習活動により、地域の文化遺産についての関心を高め、文化財保護の重要性について認識を深める。 桓武天皇・嵯峨天皇の施策の違いを、律令体制の再建という視点から考察する。 蝦夷との戦いが、公民の負担を招き律令体制の再建と矛盾した政策であったことを理解する。 漢詩文や密教の隆盛の背景に、遣唐使がもたらした晩唐文化の影響があることを理解する。 	
<ul style="list-style-type: none"> 東アジア世界との関係の変化、地方における支配体制の動揺などに着目し、律令体制の変質に伴って摂関政治が展開したことを理解する。 藤原氏が摂政・関白として権力を掌握していく過程を外戚関係樹立と他氏排斥から理解する。 遣唐使の廃止や地方の動向に着目し、従来大陸文化を消化して新しい貴族文化が進展していったことを理解する。 在地の豪族が土地を守るため武装し、一族・郎党が領地を支配するとともに、貴族に土地を寄進して保護を 	

<ul style="list-style-type: none"> 受ける荘園制が成立していく過程を考察する。 武士が次第に権力を掌握していく過程を具体的な戦乱等から考察する。 公領の変質や寄進地系荘園の拡大を背景に、院政や平氏政権が展開されたことを理解する。 平安末期には都の貴族文化が地方に普及するとともに、説話集や絵巻物に庶民の姿が見え始めたことを理解する。 守護・地頭の設置によって幕府が軍事・警察権を握り、鎌倉幕府が実質に成立したことを理解する。 将軍独裁から合議制・集団指導体制へと幕府の政治が変化していく過程を考察する。
<ul style="list-style-type: none"> 承久の乱を経て公武二元政権から武家単独政権となり、執権政治が確立・進展・変質していったことをとらえる。 鎌倉武士の生活と、荘園経済の発達および地頭による荘園侵略の経緯を明らかにする。 元寇の背景・経過・結果を、東アジア世界の動向から資料・年表等を利用して歴史的に考察する。 貨幣経済の進展や、元寇を契機とした御家人制度の崩壊が、鎌倉幕府の衰亡の要因となったことを理解する。 公家文化と武家文化を対比させながら、鎌倉文化の特質を考察する。 武士・庶民の台頭や社会不安を背景として、平易な教義を特徴とする鎌倉新仏教が成立したことを理解する。 建武の新政の諸政策が、多くの武士の不満を生み、わずか3年で崩壊したこと、及びその武士の期待を受けて、足利尊氏が幕府を成立させたことを理解する。 南北朝の動乱を政治・社会的事象から考察し、室町幕府の性格・基盤に影響を与えていたことを理解する。 惣村が形成されていく意義と特徴を把握するとともに、惣村を基盤とする一揆が発生した背景を考察する。 日本の諸地域の動向に着目し、交通の発達などによって流通経済が進展したことを理解する。その際、アイヌとの交易や琉球の中継貿易、日明貿易が日本の貨幣経済に大きな影響を与えたことなど、東アジア世界との交流にも留意する。 1年間の学習を振り返り、日本史の展開を世界史的視野に立って総合的に考察できたか、日本の文化と伝統の特色について認識を深めることができたか、歴史的思考力を培うことができたかを総括する。

地理 A <理系>

	単元名	学習する内容	時間数
前期	4月 教科ガイダンス 第 部 世界の多様性の理解のために	授業ガイダンス	1 8
	5月 1. 生活に影響を及ぼす地形 地球内部の熱と力でできる地形 外部の作用によってつくられた地形 地形図の見方	大地形 安定陸塊 古期造山帯 新期造山帯 山地の地形 褶曲地形 断層地形 火山地形 平野の地形 浸食平野 堆積平野 海岸の地形 離水海岸 沈水海岸 砂浜海岸 特殊な地形 氷河地形 乾燥地形 溶食地形 珊瑚礁 等高線の見方、地図記号、地形図と小地形 地形図の読み方 扇状地 自然堤防	
	6月 2. 生活に影響を及ぼす気候 気候と気候要素	気候要素と気候因子	
	第1回考査		
7月 気候を区分する 生活と気候とのかかわり 日本の地形・気候	気候区分、雨温図 各気候と人間生活との関係 日本の地形 日本の気候	1 6	
9月 3. 多様な生活をもたらす社会環境 生活・文化と農業のかかわり	農産物の栽培条件、農牧業の種類、地域区分 農産物の輸出入		
	第2回考査		
	10月 生活・文化と工業のかかわり	水産業、林業 エネルギーの生産と消費 石油・石炭・天然ガス・電力 代替エネルギー	1 8

期	1 1月		各種鉱産資源 工業立地 工業地域の変化	
	1 2月	第 3 回考査		
	1 月	人間が居住する村落と都市 衣食住 消費と余暇活動	村落の発達、村落の形態 都市の発達、都市の内部構造 先進国の都市問題、発展途上国の都市問題 衣食住の地域的差異、食生活と宗教 消費の拡大と行動圏、欧米・日本の余暇活動	1 8
	2 月	4 . 多様な諸地域の生活・文化 地域の調査 韓国	地域調査の方法、地形図の利用 韓国の自然・文化・産業、日本との関係	
3 月	オーストラリア アメリカ合衆国	オーストラリアの自然・文化・産業、日本との関係 アメリカ合衆国の自然・文化・産業、日本との関係		
	第 4 回考査			

学習のねらい	
<p>人類の生活の場である地形は 4 6 億年にわたる地球史の産物であり、変化と多様性に富んでいることを理解する。</p> <p>内的営力による地形の成因と人間生活の関わりについて考える。また、外的営力による様々な地形の成因別特徴と形成プロセスを学習する。</p> <p>地形図に関する基本的な知識を学習し、地図の利用について、理解を深める。</p> <p>気候環境を構成している気候要素について理解する。</p>	
<p>気候区分類の理解を通じて、目に見えない大気の現象と人間生活への影響を把握する。気候を総合的に捉えることにより、環境としての植生や土壌の理解を深める。 日本の自然環境を学習し、私たちの生活との関連を考える。</p> <p>地域によって異なる農業・林業・水産業が成立していることに気づき、自然環境や社会環境の中で、私たちの生活とどのような関わりがあるのか理解する。 世界経済の発展に伴い農業形態の地域文化が進んだことを理解する。 各農業地域が抱えている問題点について考える。</p>	
<p>世界の主なエネルギー・鉱産資源の特徴を理解する エネルギー・鉱産資源の生産と流通から生じる南北間の経済格差を理解し、その解決策を考える。 エネルギー事情の諸問題について理解する。</p>	

各種工業の立地条件について理解する。
ヨーロッパとアメリカ合衆国の工業地域の変化について、工業立地の視点から理解する。

村落の立地条件や発達背景について理解する。
都市の発達背景と都市人口の増加について理解する。
都市機能と周辺への影響について理解する。
先進国の都市問題の課題と都市の再生、発展途上国の都市問題の原因と課題について考える。
衣食住の自然環境との関係、宗教との関係について理解する。
モータリゼーション等による消費行動の変化について理解する。
余暇活動の欧米と日本との差異について理解する。
身近な地域の調査の準備・手順・まとめの方法、離れた地域の調査の準備・手順・まとめの方法について理解する。
韓国の自然・文化・産業、日本と交流など学ぶことにより、両国関係の友好的な将来展望を考える。
オーストラリアのアジア重視への変化と背景、日本との相互依存関係について理解する。
アメリカ合衆国の多民族性、農業の地域性、工業の地域性をみることで、世界のリーダーであるアメリカの特徴を理解する。

地理 B <文系>

		単元名	学習する内容	時間数
前 期	4月	教科ガイダンス 第 部 自然と生活	授業ガイダンス	2 5
	5月	1. 自然環境と生活 生活の舞台としての地形 世界の地形環境	大地形 安定陸塊 古期造山帯 新期造山帯 山地の地形 褶曲地形 断層地形 火山地形 平野の地形 浸食平野 堆積平野 海岸の地形 離水海岸 沈水海岸 砂浜海岸 特殊な地形 氷河地形 乾燥地形 溶食地形 珊瑚礁 等高線の見方、地図記号、地形図と小地形 地形図の読み方 扇状地 自然堤防	
	6月	気候と生活 世界の気候	気候要素と気候因子 気候区分、雨温図	
		第 1 回 考査		
	7月	日本の自然 2. 資源と産業 農産物の生産と流通	日本の地形 日本の気候 農産物の栽培条件、農牧業の種類、地域区分 農産物の輸出入 水産業、林業 エネルギーの生産と消費、代替エネルギー 各種鉱産資源 工業立地、工業地域の変化	2 5
	9月	資源の生産と消費 工業製品の生産と流通		
		第 2 回 考査		
	10月	3. 生活と文化 村落と都市	村落の発達、村落の形態 都市の発達、都市の内部構造 先進国の都市問題、発展途上国の都市問題 衣食住の地域的差異、食生活と宗教 消費の拡大と行動圏、欧米・日本の余暇活動	
	11月	衣食住 消費と余暇活動		

後 期	1 2月	第 部 世界の諸地域 1 . 地域の調査 2 . 国家規模の地域調査 韓国 オーストラリア 第 3 回 考査	地域調査の方法、地形図の利用 韓国の自然・文化・産業、日本との関係 オーストラリアの自然・文化・産業、日本との関係	2 5
	1月	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国の自然・文化・産業、日本との関係	3 0
2月	3 . 州・大陸規模の地域調査 西アジア・中央アジア	西アジア・中央アジア・南アジアの自然・文化 産業、民族問題		
3月	ヨーロッパ 東南アジア 第 4 回 考査	ヨーロッパの自然・文化・産業、民族問題 EUの成立 東南アジアの自然・文化・産業、民族問題		

学習のねらい	
<p>人類の生活の場である地形は46億年にわたる地球史の産物であり、変化と多様性に富んでいることを理解する。 内的営力による地形の成因と人間生活の関わりについて考える。また、外的営力による様々な地形の成因別特徴と形成プロセスを学習する。</p> <p>地形図に関する基本的な知識を学習し、地図の利用について、理解を深める。</p> <p>気候区分類の理解を通じて、目に見えない大気現象と人間生活への影響を把握する。気候を総合的に捉えることにより、環境としての植生や土壌の理解を深める。 気候環境を構成している気候要素について理解する。</p>	
<p>日本の自然環境を学習し、私たちの生活との関連を考える。</p> <p>地域によって異なる農業・水産業・工業が成立していることに気づき、自然環境や社会環境の中で、私たちの生活とどのような関わりがあるのか理解する。 世界経済の発展に伴い農業形態の地域文化が進んだことを理解する。 各農業地域が抱えている問題点について考える。 世界の主なエネルギー・鉱産資源の特徴を理解する エネルギー・鉱産資源の生産と流通から生じる南北間の経済格差を理解し、その解決策を考える。</p>	
<p>村落の立地条件や発達の背景について理解する。 都市の発達の背景と都市人口の増加について理解する。 都市機能と周辺への影響について理解する。 先進国の都市問題の課題と都市の再生、発展途上国の都市問題の原因と課題について考える。 衣食住の自然環境との関係、宗教との関係について理解する。 モータリゼーション等による消費行動の変化について理解する。 余暇活動の欧米と日本との差異について理解する。</p>	

身近な地域の調査の準備・手順・まとめの方法、離れた地域の調査の準備・手順・まとめの方法について理解する。
 韓国の自然・文化・産業、日本と交流など学ぶことにより、両国関係の友好的な将来展望を考える。
 オーストラリアのアジア重視への変化と背景、日本との相互依存関係について理解する。

アメリカ合衆国の多民族性、農業の地域性、工業の地域性をみることで、世界のリーダーであるアメリカの特徴を理解する。

西アジア・中央アジア・南アジアの言語・宗教分布をみることで、さまざまな課題があることを理解する。

E C から E U 成立までの過程や課題をみることで、ヨーロッパのめざす将来像について理解する。
 東南アジアの宗教・旧宗主国分布で地域の特徴を理解し、A S E A N を核とした経済発展について理解する。

数学 ・ B / 数学 理系

		単元名	キーワード	時間数
前 期	4月	数学 第5章 指数関数・対数関数	指数の拡張・対数とその性質 常用対数	1 5
	5月	数学B第3章 数列	数列とその和 等差数列,等比数列,和,記号 数学的帰納法 漸化式を解く,数学的帰納法	1 5
		6月	数学B第1章 平面上のベクトル 第1回考査	平面上のベクトルとその演算 和・差・実数倍,成分,内積,なす角 ベクトルと平面図形 位置ベクトル,ベクトル方程式,応用
	7月	数学B第2章 空間のベクトル	空間座標,成分,内積,位置ベクトル	1 5
	9月	数学 第6章 微分法・積分法	微分係数と導関数 微分係数,導関数,導関数の計算 導関数の応用 接線,増減表,グラフ,最大・最小, 方程式・不等式 積分法 不定積分,定積分,面積	2 5
			第2回考査	
10月	数学 第1章 関数	分数関数 双曲線,漸近線,方程式・不等式 無理関数 定義域,方程式,不等式 逆関数と合成関数 グラフの位置関係,定義域,値域	1 0	
11月	数学 第2章 極限	数列の極限	1 5	

後 期	12月		収束・発散,無限大,はさみうち, 無限級数 関数の極限	15
	1月	第3回考査	収束・発散,はさみうち,連続, 中間値の定理	
	1月	数学 第3章 微分法	微分可能性,微分係数,導関数	15
	2月	数学 第4章 微分法の応用	導関数の応用 接線と法線,平均値の定理,増減表, 曲線の凹凸,グラフ,方程式・不等式 速度と近似式 速度,速さ,加速度	20
	3月	第4回考査		

(注)詳細は、別途「授業進度計画表」を参考にすること。

数学 ・ B 文系

		単元名	キーワード	時間数	
前 期	4月	数学 第5章 指数関数・対数関数	指数の拡張・対数とその性質 常用対数	15	
	5月	数学B 第3章 数列	数列とその和 等差数列,等比数列,和,記号 数学的帰納法 漸化式を解く,数学的帰納法	25	
	6月	数学B 第1章 平面上のベクトル 第1回考査	平面上のベクトルとその演算 和・差・実数倍,成分,内積,なす角 ベクトルと平面図形 位置ベクトル,ベクトル方程式,応用	20	
	7月	数学B 第2章 空間のベクトル	空間座標,成分,内積,位置ベクトル	15	
	9月	数学 第6章 微分法・積分法 第2回考査	微分係数と導関数 微分係数,導関数,導関数の計算 導関数の応用 接線,増減表,グラフ,最大・最小, 方程式・不等式 積分法 不定積分,定積分,面積	35	
	10月	・ Bの内容を更に深めます。			

後 期	11月		
	12月	第3回考査	
	1月	・ Bの内容を更に深めます。	40
	2月	第4回考査	
	3月		

(注)詳細は、別途「授業進度計画表」を参考にすること。

数学

		単元名	キーワード	時間数
前 期	4月	数学 第1章 式と証明	恒等式,等式・不等式の証明数	8
	5月	数学 第2章 複素数と方程式	複素数,解と係数の関係,剰余の定理 因数定理,高次方程式	10
	6月	第1回考査		
	7月	数学 第3章 図形と方程式	点と直線 内分・外分,重心,直線の方程式, 点と直線との距離 円 中心,半径,円の方程式, 円と直線の位置関係 軌跡と領域	18
	9月	第2回考査	軌跡と方程式,不等式が表す領域, 数理計画法	
後	10月	数学 第3章 三角関数	三角関数 弧度法,三角関数のグラフ, 三角関数を含む方程式・不等式 加法定理 加法定理,2倍角の公式,半角の公式, 三角関数の合成	18
	11月			

期	1 2月	数学 第4章 指数関数・対数関数 第3回考査	指数の拡張,底,指数関数,対数,真数 常用対数,桁数	
	1月 2月 3月	数学 第6章 微分法・積分法 第4回考査	微分係数と導関数 微分係数,導関数,導関数の計算 導関数の応用 接線,増減表,グラフ,最大・最小, 方程式・不等式 積分法 不定積分,定積分,面積	1 8

(注)詳細は、別途「授業進度計画表」を参考にすること。

数学 A

		単元名	キーワード	時間数
前 期	4月 5月 6月	数学 A 第2章 論理と集合 第1回考査	命題,条件,真,偽,必要条件,十分条件 逆,裏,対偶,背理法	1 8
	7月 9月	数学 A 第3章 平面図形 第2回考査	三角形の性質 辺,角,内分点,外分点,角の二等分線 内心,外心,垂心,重心,中線定理	1 8
後	1 0月 1 1月 1 2月	数学 A 第3章 平面図形 第3回考査	円の性質 円周角,円の弦と弧,内接円,外接円, 接線,方べきの定理,2円の位置関係	1 8

期	1月	数学A第1章から第3章の演習		18
	2月			
	3月	第4回考査		

(注)詳細は、別途「授業進度計画表」を参考にすること。

物理

		単元名	教材名	時間数
前 期	4月	運動の表し方	落体の運動 教 p 32 ~ 35	2
	5月	運動の法則	いろいろな力 教 p 38 ~ 40	10
			力のつりあい 教 p 41 ~ 49	
			運動の法則 教 p 55 ~ 64	
	6月	第1回定期考査	摩擦や空気の抵抗を受ける運動 教 p 65 ~ 68	12
			剛体にはたらく力のつりあい 教 p 70 ~ 77	
計			24	
後 期	7月	仕事と 力学的エネルギー	仕事 教 p 80 ~ 85 運動エネルギー 教 p 86 ~ 88 位置エネルギー 教 p 89 ~ 92 力学的エネルギーの保存 教 p 93 ~ 98	11
	8月	熱とエネルギー	熱と温度 教 p 100 ~ 103 熱と仕事 教 p 104 ~ 111 エネルギーの変換と保存 教 p 112 ~ 116	10
	9月	第2回定期考査		計 21
	後 期	10月	波の性質	波の伝わり方と種類 教 p 134 ~ 141 重ねあわせの原理と波の干渉 教 p 142 ~ 146 波の反射・屈折・回折 教 p 147 ~ 152
11月		音	音の伝わり方 教 p 154 ~ 159	12
			発音体の振動と共振・共鳴 教 p 160 ~ 166	
12月		第3回定期考査	音のドップラー効果 教 p 167 ~ 169	計 24
1月	光	光の性質 教 p 172 ~ 175 光の進み方 教 p 176 ~ 181 レンズ 教 p 182 ~ 187	13	

期	2月	静電気と電流	光の干渉と回折	教 p 190 ~ 194	1 2
			静電気	教 p 210 ~ 215	
	電流	教 p 216 ~ 221			
	電気とエネルギー	教 p 222 ~ 225			
3月	電流と磁場	放電	教 p 226 ~ 228		
		磁石と電流がつくる磁場	教 p 230 ~ 235		
交流と電波	第4回定期考査	モーターと発電機	教 p 236 ~ 240		
		交流	教 p 242 ~ 245		
		電波	教 p 246 ~ 247	計 2 5	

平成 19(2007)年

週末課題 (指定問題番号)	学 習 の 目 標
5月より週末課題を課します 第1回課題テスト (5月中旬) 25 26 27 28 29 31 33 35 36 37 38 39 第1回定期考査 43 44 46 48 49 51 52 54 109 110 111 112	<ul style="list-style-type: none"> ・座標、速度、加速度などによる運動の表し方を理解する。 ・力の働きをしっかりと理解する。 ・力の合成と分解ができるようになる。つり合いの条件も判断できるようになる。 ・剛体のつり合いは、合力が0, 力のモーメントの和も0となることを理解する。 ・慣性の法則や、加えた力と生じる加速度と質量の関係を理解する。 ・力の単位[N]をきちんと定義し、運動方程式を使った計算ができるようになる。 ・摩擦力を応用して考えることができるようになる。
第2回課題テスト (9月中旬) 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 第2回定期考査 96 97 98 99 100 102 105	<ul style="list-style-type: none"> ・力と仕事の関係をきちんと理解すること。 ・仕事とエネルギーの関係も理解し、計算問題が出きるようになること。 ・保存力についても理解を深めること。 ・エネルギーの立場から熱を理解すること。 ・気体の体積・圧力・温度の関係が計算できるようになる ・気体の内部エネルギーを気体分子の運動から考える。 ・熱現象が不可逆変化であることを理解すること。
第3回定期考査 116 117 121 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 134 135 137 139 140 141 142 144 145 146 147 152 154 155 156 158 159 160 161 162	<ul style="list-style-type: none"> ・波が伝わるしくみや波を表す要素を理解し、図と式との関係を把握すること。 ・縦波と横波についても理解を深める。 ・反射などについては、波面とホイヘンスの原理に注目して考えること。 ・位相の変化は、ウェーブマシンや作図で理解すること。 ・音が波の性質を示すことを理解すること。 ・ドップラー効果は原理を理解し、計算できるようにする ・弦の振動や気柱の固有振動は、定常波の図に注目して考えること。
第4回定期考査 164 165 167 168 169 170 171 172 173 175 176 178	<ul style="list-style-type: none"> ・光の波としての現象を理解する。 ・反射・屈折・全反射についてしっかり理解する。 ・レンズについては公式と作図を通して理解すること。

180 184 185 186

< 電気分野については、別のプリントを配布します。 >

・生活を支える電気のはたらきと、それらの従う物理法則の関係を理解すること。

化学 (理科系)

		単元名等	教材名	時間数
前	4月	酸化還元反応	酸化還元反応の おこりやすさ 教 p 129 ~ 131 酸化還元反応と エネルギー 教 p 132 ~ 141	計 2 8
	5月	復習 周期表 非金属元素	物質と濃度 周期表と元素の分類 教 p 152 ~ 153 水素と希ガス 教 p 154 ~ 156 ハロゲンとその化合物 教 p 157 ~ 161 酸素・硫黄とその化合物 教 p 162 ~ 167	
	6月	復習	原子の構造と化学結合 窒素・リンとその化合物 教 p 168 ~ 171	
	7月	第1回定期考査	炭素・ケイ素とその 化合物 教 p 172 ~ 175	
期	8月 9月	金属元素 復習	アルカリ金属とその 化合物 教 p 179 ~ 183 2族元素とその化合物 教 p 184 ~ 186 化学反応と熱 1, 2族以外の典型元素 との化合物 教 p 187 ~ 194	計 2 3
		第2回定期考査	遷移元素とその化合物 教 p 195 ~ 202 金属イオンの分離と確認 教 p 203 ~ 205	
後	10月	有機化合物の特徴 と分類 脂肪族炭化水素 酸素を含む 脂肪族化合物 復習	有機化合物の特徴 教 p 218 有機化合物の分類 教 p 219 ~ 220 飽和炭化水素 教 p 221 ~ 225 不飽和炭化水素 教 p 226 ~ 232 アルコールとエーテル 教 p 233 ~ 237 アルデヒドとケトン 教 p 238 ~ 241 酸と塩基の反応	

期	11月	構造式の決定 芳香族化合物 復習	カルボン酸とエステル 教 p 242 ~ 251 構造式を決定する手順 教 p 252 有機化合物の分離・生成 教 p 253 分子式・構造式の決定 教 p 254 ~ 257 芳香族炭化水素 教 p 258 ~ 260 酸化還元反応	
	12月	第3回定期考査	酸素を含む芳香族化合物 教 p 261 ~ 269 窒素を含む芳香族化合物 教 p 232 ~ 235	計 2 7
	1月 2月 3月	第4回定期考査	化学 の復習 化学 の関連内容の学習	計 2 7

問題集	学習の目標
G : p 86 ~ 103 G : p 106 ~ 117 S : p 4 ~ 31 p 46 ~ 51	<ul style="list-style-type: none"> ・金属のイオン化傾向を理解し、金属の反応性について理解する。 ・いろいろな電池の仕組みについて理解し、電気分解の仕組みやファラデーの法則を理解する。 ・非金属元素の単体や化合物の性質、周期表上での単体の特徴について理解する。 ・水素と希ガスの単体の性質などについて理解する。 ・ハロゲンの単体や化合物の性質や反応などについて理解する。 ・酸素や硫黄の単体や化合物の性質や反応について理解する。 ・窒素やリンの単体や化合物の性質や反応などについて理解する。 ・炭素やケイ素の単体や化合物の性質や反応について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・物質量と濃度について復習する。 ・原子の構造と化学結合について復習する。
G : p 118 ~ 143 S : p 52 ~ 59	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカリ金属の単体や化合物の性質や反応について理解する。 ・2族の単体や化合物の性質や反応について理解する。 ・両性元素の単体や化合物の性質や反応について理解する。 ・遷移元素の単体や化合物について系統的に理解し、金属イオンの検出法について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・化学反応と熱について復習する。
G : p 144 ~ 187	<ul style="list-style-type: none"> ・アルカンやアルカンの構造や反応について理解する。 ・アルケンやアルキンの構造や反応について理解する。 ・アルコールやエーテルの性質や特徴などについて理解する。 ・アルデヒドやケトンの構造や、銀鏡反応やヨードホルム反応などについて理解する。 ・カルボン酸やエステルの性質や特徴について理解し、それらの利用について理解する。 ・有機化合物の特徴や構造を理解し、分類を理解する。 ・有機化合物の成分元素の検出法や、組成式と分子式の決定について理解する。 ・ベンゼンの構造について理解し、その他の芳香族化合物の種類や反応について理解する。 ・フェノール類や芳香族カルボン酸の性質や製法などについて理解

S : p 60 ~ 83	する。 ・アミンやジアゾ化合物の性質や利用について理解する。 ・酸と塩基の反応について復習する。 ・酸化還元反応について復習する。
	・化学 の内容を完全に理解する。 ・化学 の内容で、化学 と関連の強い内容を学習し、理解する。

問題集の欄のGは「ニューグローバル化学」, Sは「セミナー化学 +」のこと。

化学 (文科系)

		単 元 名 等	教 材 名	時間数
前	4月 5月	酸化還元反応	酸化還元反応の おこりやすさ 教 p 129 ~ 131	計 2 0
	6月	周期表 復習 第1回定期考査	酸化還元反応と エネルギー 教 p 132 ~ 141 周期表と元素の分類 教 p 152 ~ 153 原子の構造と化学結合	
期	7月	非金属元素	水素と希ガス 教 p 154 ~ 156 ハロゲンとその化合物 教 p 157 ~ 161 酸素・硫黄とその化合物	計 1 5
	9月 10月	復習 第2回定期考査	窒素・リンとその化合物 教 p 162 ~ 167 炭素・ケイ素とその 化合物 教 p 168 ~ 171 教 p 172 ~ 175 化学反応と熱	
後	11月	金属元素	アルカリ金属とその 化合物 教 p 179 ~ 183 2族元素とその化合物 1, 2族以外の典型元素 教 p 184 ~ 186	計 1 7
	12月	復習 第3回定期考査	遷移元素とその化合物 教 p 187 ~ 194 遷移元素とその化合物 教 p 195 ~ 202 金属イオンの分離と確認 教 p 203 ~ 205 酸と塩基の反応	
期	12月	有機化合物の特徴 と分類 脂肪族炭化水素	有機化合物の特徴 教 p 218 有機化合物の分類 教 p 219 ~ 220 飽和炭化水素 教 p 221 ~ 225 不飽和炭化水素 教 p 226 ~ 232	
	1月	酸素を含む 脂肪族化合物	アルコールとエーテル 教 p 233 ~ 237 アルデヒドとケトン 教 p 238 ~ 241	
	2月		カルボン酸とエステル 教 p 242 ~ 251	

3月	構造式の決定 復習 第4回定期考査	構造式を決定する手順 教 p 252 有機化合物の分離・生成 教 p 253 酸化還元反応	計 18
----	-------------------------	---	------

問題集	学 習 の 目 標
p 86 ~ 103	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金属のイオン化傾向を理解し、金属の反応性について理解する。 ・ いろいろな電池の仕組みについて理解し、電気分解の仕組みやファラデーの法則を理解する。 ・ 非金属元素の単体や化合物の性質、周期表上での単体の特徴について理解する。
p 10 ~ 41	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子の構造と化学結合について復習する。
p 106 ~ 117	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水素と希ガスの単体の性質などについて理解する。 ・ ハロゲンの単体や化合物の性質や反応などについて理解する。 ・ 酸素や硫黄の単体や化合物の性質や反応について理解する。 ・ 窒素やリンの単体や化合物の性質や反応などについて理解する。 ・ 炭素やケイ素の単体や化合物の性質や反応について理解する。
p 62 ~ 71	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応と熱について復習する。
p 118 ~ 143	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルカリ金属の単体や化合物の性質や反応などについて理解する。 ・ 2族の単体や化合物の性質や反応について理解する。 ・ 両性元素の単体や化合物の性質や反応などについて理解する。 ・ 遷移元素の単体や化合物について系統的に理解し、金属イオンの検出法について理解する。
p 72 ~ 83	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酸と塩基の反応について復習する。
p 144 ~ 173	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルカンやアルカンの構造や反応について理解する。 ・ アルケンやアルキンの構造や反応について理解する。 ・ アルコールやエーテルの性質や特徴などについて理解する。 ・ アルデヒドやケトンの構造や、銀鏡反応やヨードホルム反応などについて理解する。 ・ カルボン酸やエステルは性質や特徴について理解し、それらの利用について理解する。 ・ 有機化合物の特徴や構造を理解し、分類を理解する。 ・ 有機化合物の成分元素の検出法や、組成式と分子式の決定について理解する。
p 86 ~ 93	<ul style="list-style-type: none"> ・ 酸化還元反応について復習する。

生物 文系

		単元名	学習する内容	時間数
前 期	4月	オリエンテーション 生命の単位 - 細胞	細胞の研究・細胞と個体 実験：顕微鏡の扱い方， ：マイクロメーターの扱い方	1 4
	5月	細胞の機能と構造	核の働きと構造 観察：アオミドロの観察と体積の測定	4
	6月	第1回考査	細胞質の働きと細胞小器官 観察：原形質流動の観察	6
	7月		細胞の働きと酵素 実験：カタラーゼの働きと性質	5
		細胞への物質の透過	細胞膜とその性質・受動輸送と能動輸送 観察：原形質分離の観察	7
	9月	細胞の増殖と分化	体細胞分裂 観察：体細胞分裂	4
		第2回考査	細胞の分化と組織形成 観察：植物組織の観察	6
	10月	生殖	生殖の方法・減数分裂と生殖細胞の形成 VTR 視聴：生殖の方法	7
	11月	有性生殖の過程 発生とそのしくみ	動物の配偶子形成と受精 被子植物の生殖と発生 卵割と胚の発生・胚葉の分化と器官の形成 VTR 視聴：ウニとカエルの発生 観察：ウニの発生	6 9
12月	第3回考査	発生のしくみ	6	
後 期	1月	遺伝	メンデルの法則	18
	2月		遺伝子の連鎖と組換え	6
	3月	第4回考査		

教 材 等	
教科書 教科書	資料集(1~5ページ), セミナー生物 資料集の活用(6~11ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書 教科書	資料集の活用(12~15ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(104~109ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(16~17ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(20~22ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(23~27ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(30~33ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(34~37ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(42~49ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(54~57ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(66~71ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(72~76ページ) セミナー生物(問題集)の活用

生物 理系

		単 元 名	学習する内容	時間数
前 期	4月	オリエンテーション 生命の単位 - 細胞	細胞の研究・細胞と個体 実験：顕微鏡の扱い方、 ：ミクロメーターの扱い方	1 4
	5月	細胞の機能と構造	核の働きと構造 観察：アオミドロの観察と体積の測定 細胞質の働きと細胞小器官 観察：原形質流動の観察 細胞の働きと酵素	4 6 5
	6月	細胞への物質の透過 第1回考査	実験：カタラーゼの働きと性質 細胞膜とその性質・受動輸送と能動輸送 観察：原形質分離の観察	7
	7月	細胞の増殖と分化	体細胞分裂 観察：体細胞分裂 細胞の分化と組織形成 観察：植物組織の観察	5 6
	8月	生殖	生殖の方法・減数分裂と生殖細胞の形成 VTR 視聴：生殖の方法	7
	9月	有性生殖の過程 第2回考査	動物の配偶子形成と受精・被子植物の生殖と発生	9
	10月	発生とそのしくみ	卵割と胚の発生・胚葉の分化と器官の形成 VTR 視聴：ウニとカエルの発生 観察：ウニの発生 発生のしくみ	11 6
	11月	遺伝の法則 第3回考査	メンデルの法則・いろいろな遺伝現象	11
	12月	遺伝子と染色体	メンデル遺伝と染色体 遺伝子の連鎖と組換え 観察：だ腺染色体の観察	6 7
後 期	1月	遺伝子の本体	遺伝子の本体の究明 遺伝子の本体	2 4
	2月	刺激の受容と動物の反応	刺激の受容と感覚 いろいろな受容器 実験：盲斑の研究 効果器と反応 実験：ウミホタルの発光	1 6 5
		神経系	ニューロン 興奮とその伝わり方	1 3
	3月	第4回考査		

教 材 等	
教科書 教科書	資料集(1~5ページ), セミナー生物 資料集の活用(6~11ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書 教科書 教科書	資料集の活用(12~15ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(104~109ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書	資料集の活用(16~17ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書 教科書 教科書 教科書	資料集の活用(20~22ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(23~27ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(30~33ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(34~37ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書 教科書 教科書	資料集の活用(42~49ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(54~57ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(66~71ページ) セミナー生物(問題集)の活用
教科書 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書 教科書	資料集の活用(77~81ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(72~76ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(86~89ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(86~89ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(132~133ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(134~137ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(138~141ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(142ページ) セミナー生物(問題集)の活用 資料集の活用(143~144ページ) セミナー生物(問題集)の活用

地学

普通地学選択者

		単元名	教材名	時間数	
前 期	4月	地球の形 重力と地磁気 地球の内部構造	地球の形と構造 教科書 P 8 ~ P 3 5 エラトステネスの方法（緯度と中心角の求め方） 地球がもつ力・地磁気の三要素・地球内部の熱 実験 （縦波と横波の性質の違いを考える） 実習 （走時曲線を実際に描き地殻の厚さを求める）	1 8	
	5月	プレートとその動き 地震の分布と震源地			地震波による推定、モホ不連続面とシャドーゾーン アイソスタシーとその計算方法 プレートの分布・境界 マグニチュードと震度、初動と断層 大森の公式の計算方法、震源の決定 世界の震源分布 日本付近の地震
	6月	第 1 回 考査			
	7月	火山活動と火成岩	火山や地殻変動・地殻構造 教科書 P 3 6 ~ P 8 5 火山灰の観察（顕微鏡実習） 火山活動と火山の形、火山災害 火山の分布とプレート 探求活動 プレートの動きと火山島列の関係を調べる。（ホットスポット）	1 7	
9月	鉱物と岩石について 造山運動と変成岩	火成岩の組織と分類 鉱物とその性質 珪酸塩鉱物 マグマの発生と結晶分化作用 地殻変動と地形、褶曲や断層の形成、変成岩とその形成場、ホルンフェルスと片麻岩、大陸の成長			
	第 2 回 考査				
後 期	1 0月	風化作用と川の働きと堆積岩 地層の形成と化石	岩石と大気・海洋 教科書 P 8 5 ~ 1 2 6、 風化作用、侵食・運搬・堆積作用・堆積岩とその分類 地層が堆積した環境をさぐる、地層の広がり 地質調査、地質図と地層の新旧 実習 地層の広がりやなりたちを調べる	1 7	
	1 1月	地質時代の区分 地球の誕生と進化			化石の種類と生物進化 整合と不整合、地層の対比 放射年代の測定、相対年代と地質時代の区分 先カンブリア時代（冥王代、太古代、原生代） 顕生代（古生代、中生代、新生代） 大量絶滅と生物進化
	1 2月	第 3 回 考査			
	1月	大気圏 水蒸気と雲 地球の熱収支	気象と海洋 教科書 P 1 4 8 ~ 1 5 9 大気の組成、大気圏の層構造 水の循環、飽和水蒸気量と断熱変化、フェーン現象 大気の安定・不安定、凝縮核と氷晶、 太陽放射とそのゆくえ、太陽定数 地球の熱収支、大気の温室効果、大気の熱輸送 気圧傾度力・転向力、地衡風・地上の風・傾度風 大気の大循環、偏西風波動、季節風・局地風 気団と前線、温帯低気圧の発達 熱帯低気圧と台風	1 8	
2月	風について				
3月	第 4 回 考査	探求活動 新聞の気象データを読む			

学習のねらい	家庭学習	発展学習
<p>地球の形や大きさ、地球上に働く力について、基礎的な知識を身につけ、今後の学習に役立てる。</p> <p>地球表面で起こる地学現象は、地球の内部のエネルギーによって引き起こされるものがある。直接、見ることでできない地球の内部を科学の目でみる方法を学ぶ。</p> <p>地震の発生過程やメカニズムを知る。</p>	<p>要点を整理しよう。 地球の大きさはどのくらいか？ 地球の形はどんな形か 地磁気の3要素とはなにか。 アイスタ-とはどのような考えか。 重力と引力の違いは何であろう。 地球内部構造はどうなっているか マグニチュードとI補正-の関係は？ P波とS波の違い 初動分布とは何か 和達-ベニオフ帯とは何か 日本はなぜ地震が多いか</p>	<p>問題集（基本マスター）で実力をつけよう。</p> <p>問題集 P 2 ~ P 13</p> <p>図や表を読む力を養おう 地学図表 P 6 ~ P 15 P 38 ~ P 43</p>
<p>火山現象の仕組みを理解するとともに、地球規模的な視野で火山の活動について学び、地震との関連についても知る。</p> <p>我々が立っている地殻は、岩石からなり、岩石は鉱物の集合体である。鉱物は規則正しく元素が集まってできている。地球を物質面からとらえられるように学ぶ。</p> <p>造山運動に関わる事柄について学ぶ。</p>	<p>要点を整理しよう。 火山噴出物には何がある 盾状火山や成層火山や溶岩ドームはどのような岩石から成るか 花崗岩にはどんな鉱物が入っているか 同質異像の関係の鉱物にはどのようなものがあるか 結晶分化作用で最初に晶出する鉱物は何か 造山運動の特徴は何か。 変成岩とはどのようなものか</p>	<p>問題集の部末問題にトライしよう。</p> <p>問題集 P 14 ~ P 25</p> <p>図や表を読む力を養おう 地学図表 P 16 ~ P 37 P 48 ~ P 49</p>
<p>地球の歴史は、地層や岩石に記録されている。</p> <p>堆積岩やそれができるまでの過程、地層の特徴などを、地球の歴史と関連付けて学ぶ。</p> <p>地球には何億年におよぶ長い歴史があり、その歴史をどのように科学的に調べたのであろうか。地球の過去の事実を表した記録を解釈する方法を探求する。</p> <p>また、地質時代の区分方法をきちんと身につける。</p>	<p>要点を整理しよう。 風化や侵食はどのように行われるか。どのような地形をつくるか。 堆積岩の種類について 地層の内部構造について 斜交層理・れん痕など 地質図の読み方 混だく流とは 示準化石と示相化石 地質時代年表を書いてみよう 先カンブリア時代の世界とは 古生代・中生代の示準化石 新生代と人類</p>	<p>問題集で実力をつけよう。</p> <p>問題集 P 28 ~ P 47</p> <p>図や表を読む力を養おう 地学図表 P 56 ~ P 63 P 82 ~ P 87</p>
<p>大気中の水分は状態を変えて、雲となり、雨や雪となり、その過程で莫大なエネルギーを放出していることをグローバルな視点から理解し、気象学の基礎を身につける。</p> <p>天気の変化は大気の運動の現れであり、風は大気の運動そのものである。その大気の流れを予測する方法を学ぶ。</p>	<p>要点を整理しよう。 温度と湿度の関係について飽和水蒸気曲線のグラフから考えてみよう フェーン現象の仕組みを乾燥断熱減率と湿潤断熱減率から説明してみよう。 太陽定数をもとに、地球が受け取る太陽放射エネルギーを計算してみよう 地衡風や傾度風や地上の風について、はたらく力の関係を図に書いてみよう。</p>	<p>計算問題に強くなるよう。</p> <p>問題集 P 48 ~ P 59</p> <p>図や表を読む力を養おう 地学図表 P 82 ~ P 97</p>

地学

創造表現コース

		単元名	教材名	時間数
前	4月	地球の形 重力と地磁気 地球の内部構造	地球の形と構造 教科書 P 8 ~ P 3 5 エラトステネスの方法（緯度と中心角の求め方） 地球がもつ力・地磁気の三要素・地球内部の熱 実験 （縦波と横波の性質の違いを考える） 実習 （走時曲線を実際に描き地殻の厚さを求める） 地震波による推定、モホ不連続面とシャドーゾーン アイソスタシーとその計算方法 プレートの分布・境界 マグニチュードと震度、初動と断層 大森の公式の計算方法、震源の決定 世界の震源分布 日本付近の地震	1 8
	5月	プレートとその動き 地震の分布と震源地		
	6月	第 1 回考査		
期	7月	火山活動と火成岩 鉱物と岩石について	火山や地殻変動・地殻構造 教科書 P 3 6 ~ P 8 5 火山灰の観察（顕微鏡実習） 火山活動と火山の形、火山災害 火山の分布とプレート 探求活動 プレートの動きと火山島列の関係を調べる。（ホットスポット） 火成岩の組織と分類 鉱物とその性質 珪酸塩鉱物 マグマの発生と結晶分化作用 地殻変動と地形、褶曲や断層の形成、変成岩とその形成場、ホルンフェルスと片麻岩、大陸の成長	1 7
	9月	造山運動と変成岩 第 2 回考査		
後	1 0月	風化作用と川の働きと堆積岩 地層の形成と化石	岩石と大気・海洋 教科書 P 8 5 ~ 1 2 6、 風化作用、侵食・運搬・堆積作用・堆積岩とその分類 地層が堆積した環境をさぐる、地層の広がり 地質調査、地質図と地層の新旧 実習 地層の広がりやなりたちを調べる 化石の種類と生物進化 整合と不整合、地層の対比 放射年代の測定、相対年代と地質時代の区分 先カンブリア時代（冥王代、太古代、原生代） 顕生代（古生代、中生代、新生代） 大量絶滅と生物進化	1 7
	1 1月	地質時代の区分 地球の誕生と進化		
	1 2月	第 3 回考査		
期	1月	大気圏 水蒸気と雲 地球の熱収支	気象と海洋 教科書 P 1 4 8 ~ 1 5 9 大気の組成、大気圏の層構造 水の循環、飽和水蒸気量と断熱変化、フェーン現象 大気の安定・不安定、凝縮核と氷晶、 太陽放射とそのゆくえ、太陽定数 地球の熱収支、大気の温室効果、大気の熱輸送 気圧傾度力・転向力、地衡風・地上の風・傾度風 大気の大循環、偏西風波動、季節風・局地風 気団と前線、温帯低気圧の発達 熱帯低気圧と台風	1 8
	2月	風について		
	3月	第 4 回考査 探求活動 新聞の気象データを読む		

学習のねらい	家庭学習	発展学習
<p>地球の形や大きさ、地球上に働く力について、基礎的な知識を身につけ、今後の学習に役立てる。</p> <p>地球表面で起こる地学現象は、地球の内部のエネルギーによって引き起こされるものがある。直接、見ることでできない地球の内部を科学の目でみる方法を学ぶ。</p> <p>地震の発生過程やメカニズムを知る。</p>	<p>要点を整理しよう。 地球の大きさはどのくらいか？ 地球の形はどんな形か 地磁気の3要素とはなにか。 アイスタ-とはどのような考えか。 重力と引力の違いは何であろう。 地球内部構造はどうなっているか マグニチュードとI補正-の関係は？ P波とS波の違い 初動分布とは何か 和達-ベニオフ帯とは何か 日本はなぜ地震が多いか</p>	<p>問題集（基本マスター）で実力をつけよう。</p> <p>問題集 P 2 ~ P 13</p> <p>図や表を読める力を養おう 地学図表 P 6 ~ P 15 P 38 ~ P 43</p>
<p>火山現象の仕組みを理解するとともに、地球規模的な視野で火山の活動について学び、地震との関連についても知る。</p> <p>我々が立っている地殻は、岩石からなり、岩石は鉱物の集合体である。鉱物は規則正しく元素が集まってできている。地球を物質面からとらえられるように学ぶ。</p> <p>造山運動に関わる事柄について学ぶ。</p>	<p>要点を整理しよう。 火山噴出物には何がある 盾状火山や成層火山や溶岩ドームはどのような岩石から成るか 花崗岩にはどんな鉱物が入っているか 同質異像の関係の鉱物にはどのようなものがあるか 結晶分化作用で最初に晶出する鉱物は何か 造山運動の特徴は何か。 変成岩とはどのようなものか</p>	<p>問題集の部末問題にトライしよう。</p> <p>問題集 P 14 ~ P 25</p> <p>図や表を読める力を養おう 地学図表 P 16 ~ P 37 P 48 ~ P 49</p>
<p>地球の歴史は、地層や岩石に記録されている。</p> <p>堆積岩やそれができるまでの過程、地層の特徴などを、地球の歴史と関連付けて学ぶ。</p> <p>地球には何億年におよぶ長い歴史があり、その歴史をどのように科学的に調べたのであろうか。地球の過去の事実を表した記録を解釈する方法を探求する。</p> <p>また、地質時代の区分方法をきちんと身につける。</p>	<p>要点を整理しよう。 風化や侵食はどのように行われるか。どのような地形をつくるか。 堆積岩の種類について 地層の内部構造について 斜交層理・れん痕など 地質図の読み方 混だく流とは 示準化石と示相化石 地質時代年表を書いてみよう 先カンブリア時代の世界とは 古生代・中生代の示準化石 新生代と人類</p>	<p>問題集で実力をつけよう。</p> <p>問題集 P 28 ~ P 47</p> <p>図や表を読める力を養おう 地学図表 P 56 ~ P 63 P 82 ~ P 87</p>
<p>大気中の水分は状態を変えて、雲となり、雨や雪となり、その過程で莫大なエネルギーを放出していることをグローバルな視点から理解し、気象学の基礎を身につける。</p> <p>天気の変化は大気の運動の現れであり、風は大気の運動そのものである。その大気の流れを予測する方法を学ぶ。</p>	<p>要点を整理しよう。 温度と湿度の関係について飽和水蒸気曲線のグラフから考えてみよう フェーン現象の仕組みを乾燥断熱減率と湿潤断熱減率から説明してみよう。 太陽定数をもとに、地球が受け取る太陽放射エネルギーを計算してみよう 地衡風や傾度風や地上の風について、はたらく力の関係を図に書いてみよう。</p>	<p>計算問題に強くなるよう。</p> <p>問題集 P 48 ~ P 59</p> <p>図や表を読める力を養おう 地学図表 P 82 ~ P 97</p>

体育

	単元名	学習する内容	時間数
前	4月 集団行動(男女) 行進練習(男女)	体カトレーニング(年間) ストレッチ・体ほぐし 体カづくり・体操 集団行動・行進練習	()は 女子 9 (9)
	5月 男子 ソフトボール	ソフト グランド 基礎練習(攻守)ゲーム	1 5
	6月 女子 バレーボール	バレー バレーコート 基礎練習(パス・サーブ・スパイク) ゲーム	(1 5)
期	7月 ダンス(男女)	ダンス 体育館・格技館・講堂 女子：創作ダンスの基礎 全体：体育大会の練習	1 5 (1 5)
	8月 体育大会練習	体育大会の練習 グランド ラジオ体操・集団種目	1 5
	9月 【体育大会】	出場種目・リレー等	(1 5)
	10月 男子 ソフトボール 女子 ダンス		
後	10月 男子 サッカー	サッカー グランド 基礎練習・グループ戦術・ゲーム	2 4
	11月 女子 バスケット	バスケット 体育館 基礎練習(パス・シュート・ドリブル)	(2 4)
	12月	ゲーム	
期	1月 持久走	持久走 グランド 距離走・時間走	1 2 (1 2)
	2月 【マラソン大会】 3年生選択種目 オリエンテーション	選択種目 種目：卓球・バドミントン・テニス・ ソフトテニス・サッカー・バレー・ バスケット・陸上・剣道	3 (3)
	3月 体育理論 選択準備	場所：グラウンド・体育館・ テニスコート他 場所の使用法・用具の準備片付け グループ学習用法・ノートづくり方法 トレーニング方法・展開計画づくり 基礎練習・ゲーム	1 2 (1 2)

保健

		単元名	学習する内容	時間数	
前 期	4月	生涯を通じる健康	P 1 6 5 ~ 1 7 9 (1 5) 1 . 生涯の各段階における健康 (1) 思春期と健康 思春期における心身の発達と健康 性意識と性行動の選択	9	
	5月		(2) 結婚生活と健康 健康な結婚生活 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶		
	6月		《第1回考査》		
	7月	《第2回考査》	P 1 7 9 ~ 1 9 2 (1 4) (3) 加齢と健康 加齢にともなう心身の変化 高齢者のための社会的とりくみ		8
	8月		2 . 保健・医療制度と地域の保健・医療機関の活用 わが国の保健・医療制度 地域の保健・医療機関の活用		
	9月		《第2回考査》		
後 期	10月	社会生活と健康	P 1 9 3 ~ 2 0 5 (1 3) 1 . 環境と健康 (1) 環境汚染と健康 大気汚染と健康 水質汚濁と健康 土壌汚染と健康 広がる環境汚染 (2) 環境と健康の対策 環境汚染の防止と改善 産業廃棄物の処理と健康	7	
	11月		《第3回考査》		
	12月		《第3回考査》		
	1月	《第4回考査》	P 2 0 6 ~ 2 2 3 (1 8) 2 . 環境と食品の保健 環境衛生にかかわる活動 食品保健にかかわる活動	11	
	2月		3 . 労働と健康 職業病や労働災害と健康 働く人の保持増進		
	3月		P 5 3 ~ 5 8 (6)		
	3月		《第4回考査》		

音楽

		单元名	学習する内容	時間数	
前	4月	「歌を作ろう」	歌の創作	4	
			合唱（ポピュラー曲）	4	
	5月	「ポップスを歌おう」	歌の創作	4	
			合唱（ポピュラー曲）	4	
	6月		旋律への和音付け	4	
	期		第1回考査		
		「ミュージカルに親しもう」		ミュージカル	2
7月		弾き語り		4	
		ミュージカル		4	
	9月	「グループで演奏しよう」	グループによる編曲・演奏	6	
	第2回考査				
後	10月	「自分たちの演奏を発表しよう」	グループによる編曲・演奏	8	
	11月		グループによる編曲・演奏・発表会	8	
	12月		グループによる合唱・合唱コンクールに向けて	4	
期		第3回考査			
	1月		「日本の音楽に親しむ」	日本音楽について・歴史と実技	6
	2月		「ボーカルアンサンブル」	グループによる合唱	8
	3月	第4回考査	グループによる発表会	4	

教 材 等

「星に願いを」

「ホールニューワールド」

「マイフェアレディ」

「ウェストサイド物語」

「合唱コンクール課題曲」

箏曲「みだれ」/長唄「京鹿子娘道成寺」/尺八「鶴の巣籠」他

美術

		単元名	学習内容	時間
前 期	4月	卓上静物	鉛筆による描画方法、構図のとり方を学ぶ ・鉛筆の特性 ・質感表現、空間表現 ・観察力による表現	10
	5月			
	6月	人物油彩	人物表現の基本を学習する ・人体の比率やバランスの取り方 ・画面の入れ方 ・造形的美しさ,モデルの雰囲気	10
前 期	8月 9月	平面構成	平面における線、色、形による構成について学習する ・テ - マへの取り組みと理解 ・線、色、形の配置と調和 ・絵の具、用具の使い方	16
	10月 11月	陶芸実習	焼き物の技法と表現の基礎を学ぶ 使いやすさと美しさの融合 日用品の制作 ・粘土の性質、釉薬の性質 ・紐造りによる成形から本焼まで ・用具の扱い方 ・生活の中のデザインについて	10
後 期	12月 1月	CG	コンピュータの基本操作の学習 ・基本構造 ・基本操作 ・グラフィックソフトによるカードのデザイン	16
	2月 3月	石膏デッサン (木炭)	木炭による素描の基礎と表現方法について理解する ・石膏デッサンする理由について ・木炭の扱い方を理解する ・形をとる時の方法と構図について ・空間表現と質感表現	8

英語

		単元名	学習する内容	時間
前 期	4月	Lesson 1	A Young Voyager	2 8
	5月	Lesson 2	The Hamburger and the Rain Forest ・	
		Lesson 3	Pets Can Be Good for Health	
		Lesson 4	The Power of Smell	
		第1回考査		
7月	Lesson 5	Dream Your Dream	2 7	
9月	Reading 1	The Day I Met My Mother		
10月	第2回考査			
後 期	10月	Lesson 6	The Perfect Picture	2 6
	11月	Lesson 7	Cell Phones in the Wilderness	
	12月	Lesson 8 第3回考査	Language in Danger	
	1月	Lesson 9	Beyond Our Limits	2 4
	2月	Lesson 10	Shoot for Blue	
	3月	Reading 2	Becky and the Wolf	
		第4回考査		

ライティング

		単元名	学習する内容	時間数
4月	5月	Part 1 (基礎編) L 1 E パル L 2 新しいクラス L 3 趣味 L 4 クラブ活動 L 5 パーティーとプレゼント	名詞と冠詞 形容詞の位置と語順 副詞(句)の位置と語順 基本文型 基本文型	1 8

情報 A

	単元名	学習する内容	時間数
	<オリエンテーション>	(1)現代の社会と情報 (2)コンピュータ教室の使用上の注意 (3)コンピュータの基本操作 (4)データ入力、データの管理 (5)ワープロソフトの基本操作 (6)ワープロソフトを用いた作品制作・相互評価	1 2
	<ネットワークの活用> 1. 情報の検索と収集	(1)ネットワークとインターネットの仕組み (2)ネットワーク上のデータベース (3)情報検索エンジンの活用、web ページの閲覧	

前 期	2. 情報の受発信と共有 3. ネットワーク利用の心がまえ 実技テスト	(4)電子メールの仕組み (5)電子メールの作成・送受信 (6)情報の信ぴょう性と信頼性 (7)セキュリティと個人の責任 (8)情報の保護と知的財産権	13
	<情報の活用とコンピュータ> 1. 情報の活用 第2回定期考査	(1)問題解決への情報の利用 (2)表計算ソフトによる簡易データベース (3)表計算ソフトの活用	10
後 期	2. 情報の伝達 実技テスト	(4)情報の加工と報告書作成、プレゼンテーション (5)プレゼンテーションソフトを用いた報告・発表・相互評価	10
	<マルチメディアの活用> 1. 情報の統合 2. マルチメディア作品の制作実習	(1)ハードウェアの全体像 (2)デジタルカメラの利用 (3)イメージスキャナの利用 (4)画像処理の方法 (5)ドローツールによる作画 (6)情報発信、情報のデジタル化 (7)HTMLの基本 (8)webページの作成 (9)効果的な表現、情報の伝達方法	20
	<未来に向けて> 1. メディアの発達としくみ 2. ITがひらく21世紀 第4回定期考査	(1)メディアの発達 (2)情報通信ネットワークのしくみ (3)情報化の光と影 (4)情報化による社会システムの未来	5

実習の内容・課題	実習ごとの目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ワードによる文書作成 (文章入力・図・表の作成、写真の取り込みなど) ・データの保存 ・フォルダ作成とデータ管理の実習 ・ワード作品制作・相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や情報技術と個人や社会生活との関わりを理解する。 ・コンピュータによる情報の表し方や処理のしくみを理解する。
<ul style="list-style-type: none"> ・簡易データベースの実験 ・webデータの活用 ・情報検索エンジンを利用した情報検索の 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークやデータベースなどの活用を通して、必要とする情報を効果的に検索・収集する方法を習得する。 ・情報を効果的に発信したり、情報を共有するため

<p>実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールの作成、送受信の実習 ・情報モラルのシュミレーション演習 	<p>には、情報の表し方に工夫や取り決めが必要であることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークやデータベースなどを利用した情報の収集・発信の際に起こり得る具体的な問題について理解し、情報社会で必要とされる心構えについて考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・エクセルによる表計算の実習 (データ入力・計算・グラフ作成・関数の利用・データベースの利用など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決を効果的に行うためには、目的に応じた解決手順の工夫とコンピュータや情報通信ネットワークの適切な活用が必要であることを理解する。 ・情報を的確に伝達するためには、伝達内容に適した提示方法の工夫が必要であることを理解する。
<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントによるプレゼンテーションの作成 ・プレゼンテーション作品制作・発表・相互評価「修学旅行の研修報告」 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に伝達するためには、伝達内容に適した提示方法の工夫が必要であることを理解する。
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルカメラによる撮影 ・イメージスキャナによる画像取り込み ・画像処理ソフトによる画像処理 ・ドローツールによる作画 ・HTML ファイルの作成、タグの入力 ・ホームページビルダーによる web ページの作成 ・web ページ制作・発表・相互評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの機能とソフトウェアや外部機器などを組み合わせて活用することを通して、コンピュータは多様な形態の情報を統合できることを理解し、それらを総合的に処理する方法を習得する。
<ul style="list-style-type: none"> ・一年間のまとめ(作品発表、相互評価) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報化の進展が生活に及ぼす影響を身のまわりの事例などを通して認識し、情報を生活に役立て主体的に活用しようとする心構えについて考える。 ・情報社会に生きるためにはコンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に使いこなす力が大切で、将来にわたって情報技術の活用能力を高めていくことが必要であることを理解する。

CGI

		単元名	学習内容	時間
	4月	CG 概論	コンピュータの基本操作の学習 ・基本構造、ソフトウェア -、ファイル管理などグラフィックソフト系についての学習	6
	5月	CG 演習	ドローイング系ソフトによるカードのデザイン ・ドローイング系ソフトを使ったレイアウト表現 ・ロゴとマークのデザイン	10

前期	6月	CG 演習	顔写真を用いた画像編集と表現 ・ペイント系ソフトによる描画と画像編集 ・画像の加工と合成	10
	7月	CG 演習	・レイヤー構造について ・フィルターの特性 パッケージのデザイン ・商品におけるパッケージの役割と効果 ・パッケージデザインの条件	10
	9月	CG 概論	現代における映像メディア表現の領域 コンピューターの発達とデザインの関わり	4
後期	10月 11月 12月	CG 演習	静止画像を連続させて動画を作る ・アニメーションについて ・物理的な動きの特性を捉え理解する ・動くように見せる工夫	12
	1月 2月 3月	CG 演習	小冊子の作成 ・エディトリアルデザインの基礎学習 ・レイアウトの基本と応用 ・画像と書体の役割	18

絵画

		単元名	学習内容	時間
前	4月	平面構成 (モチーフ)	モチーフを用いた平面構成の学習 ・平塗りの表現方法 ・ポスターカラーの特性と扱い方 ・モチーフの特質と描写(色彩・形体・材質) ・構成による視覚効果(リズム・バランス) ・画面構成の工夫(造形・配色)	20
	5月			
	6月			

期	7月	陶芸実習	紐作りや板作りで花器を制作する ・紐作りの特性と技法 ・板作りの制作と技法 ・使用目的に応じた形を見出すことが出来る	15
	8月	プロダクト デザイン (製品デザイン)	使用者の要望に配慮しながら美的造形性と機能性、 生産性の調和を図り、イメージやアイデアを製図、 プレゼンテーションボード、模型制作で表現する。 ・自然物や人工物の観察し、それらをデザインに 生かす ・使う者の心情とデザインとの関係や色彩、形体、 素材、構造などの造形の諸要素を学ぶ	20
	9月			
後	10月			
	11月	油彩画実習 (静物)	静物画の表現と工夫について学習する ・油彩の基礎技法について理解する ・構図のとり方とその工夫 ・油彩による質感描写	16
	12月	美術史	西洋美術の大まかな流れについて理解する ・古代から近代までの美術の歴史 ・絵画表現の歴史	10
	1月			
	2月	絵画表現 (人物・群像)	授業で実践した技法・描画材を応用し、人物表現を 行う ・描画材の特性を理解する ・自己を見つめて、内面の感情や気持ちを表現す ることを学ぶ ・表情やポーズのとり方、色彩やタッチによる表 現方法の工夫	24
期	3月			

素描

		单元名	学習内容	時間
前	4月	素描実習 (静物)	静物をモチーフとした鉛筆描写の学習 ・鉛筆描写の特性について ・構図について ・光と影の関係と立体表現 ・量感、動勢、空間表現	20
	5月			
	6月			

期	7月	水彩画実習 (自画像)	人物表現の基本を学習する ・人体の比率やバランスのとり方 ・質感表現 ・表情やポーズのとり方、色彩やタッチによる感情表現	15
	9月			
後期	10月	水彩画 (細密模写)	模写を行うことで質感表現や色彩感覚を養う ・質感描写の方法 ・立体感、空気感の表現 ・着彩方法の研究	20
	11月			
	12月	素描実習 (石膏像)	石膏像をモチーフとした素描の学習 ・木炭描写の特性について ・構図について ・質感表現 ・空間表現	15
	1月			
2月				
	3月			